

ToMMo NEWS LETTER

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 ニュースレター



vol. 61

利便性と安全性は、両立が難しいケースがしばしばです。ToMMoが15万人を超える方々からご提供を受けたデータは、安全性を重視して専用の端末からのみアクセス可能としてきましたが、この度その規定を見直し、より利便性を増す形の運用を行うように舵を切りました。決して安全性を軽視した訳ではなく、技術の進歩により代替措置が可能になったことからです。是非、ご体感下さい。

[Topics]

ToMMoスーパーコンピュータへの新アクセス環境が運用開始

2024年10月より、インターネット経由でスーパーコンピュータの分譲・共同利用区画であるUnit Bに接続可能な新たなアクセス環境の運用を開始しました。

これまで、遠隔地からのUnit Bへのアクセスは、要件を満たす部屋(遠隔セキュリティエリア)からの、気密性の高いネットワークを用いた機構が提供するデータ閲覧端末によるアクセスに限られていましたが、インターネット経由で利用者所有の端末からアクセスすることが可能となりました。新アクセス環境はネットワークの工事が不要のため、低予算・短期間でUnit Bへのアクセス環境の設置が可能です。研究計画の立案やTMMデータの利活用がより身近なものとなります。

このUnit Bへのアクセス環境(データ閲覧エリア)は、事前に申込が必要です。主な要件や手続き等はToMMoスーパーコンピュータ ポータルサイトをご確認下さい。

ToMMoスーパーコンピュータの区画

	Unit A	Unit B	プレリサーチ区画	Unit C
利用場所	どこでも	データ閲覧エリア	データ閲覧エリア	データ閲覧エリア
ネットワーク	インターネット	ToMMoの指定VPN インターネット 2024年10月運用開始	インターネット	ToMMoの指定VPN
利用端末	利用者のPC	ToMMo提供の端末 利用者の端末	利用者の端末	ToMMo提供の端末
データの出し入れ	自由	制限あり	不可	制限あり
分譲データの扱い	不可	可能	不可	—
TMMプレリサーチ	不可	可能	可能	可能

「TMMデータ利活用説明会～更に身近に、大規模に～」を開催

10月2日(水)、「TMMデータ利活用説明会～更に身近に、大規模に～」をオンラインで開催しました。まず、大根田 絹子副機構長から試料・情報の利活用についての概要説明を行い、次に荻島 創一教授から統合データベースdbTMMの具体的な使い方について説明をしました。最後に木下 賢吾副機構長より10月から始まったTMMスパコン利用拡大について、また4月からすでに開始されているTMMプレリサーチの利用申請方法など、手続き等について詳しく説明を行いました。本説明会には200名近くの方にご参加いただき、ご質問も多数いただきました。なお、当日ご参加できなかった皆さま向けにオンデマンド配信も行っています。ToMMo YouTubeより是非ご覧ください。

YouTube

検索

TMMデータ利活用説明会 ～更に身近に、大規模に～

日時: 2024年10月2日(水) 11時～12時

- 「TMMの試料・情報の利活用～イントロダクション～」
大根田 絹子副機構長
- 「統合データベースdbTMMの使い方」
荻島 創一 教授
- 「TMMスパコン利用拡大、TMMプレリサーチとは」
木下 賢吾 副機構長

「TMMの試料・情報の利活用」大根田 絹子 副機構長
東北大学東北メディカル・メガバンク機構
チャンネル登録

🔔 通知 🔔 🔔 共有 🔔 🔔 オフライン

2024.10.19-27

4つの地域イベントに出展

2024年10月下旬、ToMMoは4つの地域の健康イベントにブースを出展し、ToMMoの調査や調査からわかってきたことを皆さまに直接お伝えしました。参加したイベントは「大崎市健康と福祉の集い」(10/19～20)、「わくや産業祭&食育推進大会」(10/20)、「若林区民ふるさとまつり(健康づくりフェスティバル)」(10/20)、「じょさんしフェスタ」(10/27)です。10年以上の日々をみなさまと共に歩んできたことを改めて実感しました。

2024.10.31

日本人の遺伝子変異とタンパク質の立体構造をつなぐポータルサイト公開

ToMMoは大阪大学蛋白質研究所の運営する日本蛋白質構造データバンク(PDBj)と共同で、日本人の遺伝子変異情報とタンパク質の配列・立体構造情報をつなぐポータルサイトを構築し、PDBjの新サービスとして公開しました。jMorpに収録している遺伝子変異がタンパク質の立体構造のどこに位置しているかの情報を簡単に得られるようになりました。病気のメカニズム解明や薬の標的分子の探索など、医学・薬学の研究分野で大いに役立つツールになると期待されます。

2024.11.01

「モノクロゲノム®」がeラーニングアワードで受賞

ToMMoの小林 朋子准教授らが制作したe-Learningコンテンツ「モノクロゲノム®」が第21回eラーニングアワードで学びの革新特別部門賞を受賞しました。

ToMMoの三世代コホート調査をはじめ、子どもがゲノム・遺伝子解析研究の対象になる例が増えており、参加するかどうかを子どもが自分で決められるように、研究内容を理解してもらうための資料が必要となっています。小学校低学年を想定ユーザーとした「モノクロゲノム®」は、子どもが自分のペースで操作しながら、ストーリー仕立てでゲノム・遺伝子解析研究の説明を受けることができるe-Learningコンテンツです。開発後の検証でも、紙媒体よりも興味や関心を引き出す効果があると示されました。「モノクロゲノム®」は誰でも無償で利用することができます。

2024.11.04

産後うつリスク評価

産後6ヶ月・12ヶ月時点でのうつ症状のリスクは、産後1ヶ月でのうつ症状だけでなく自傷行為念慮も組み合わせた方がよりの確に評価できることがわかりました。産婦健診ではメンタル状態の調査にエジンバラ産後うつ病質問票(EPDS)を使っています。EPDSが9点以上、あるいは「精神的な辛さのために自分自身を傷つけてしまいたい気持ち(自傷行為念慮)」がある場合は高リスク群として対応すべきとされています。しかし、EPDSの点数だけを判断基準とする自治体もあるので、うつ症状の的確な評価方法を検討しました。三世代コホート調査の参加者12,358名の産後女性を対象に、産後1ヶ月時点のうつ症状と自傷行為念慮を組み合わせからA群(ともにある)、B群(うつ症状のみある)、C群(自傷行為念慮のみある)、D群(どちらもない)の4つの群に分けました。産後6・12ヶ月にうつ症状があるリスクは、A群はD群に比べて順

に8.41倍、6.32倍で、自傷行為念慮を考慮しない場合(A群+B群、順に5.88倍、3.93倍)よりも高いリスクがあることがわかりました。自傷行為念慮だけがあるC群でも、産後6・12ヶ月でのリスクはいずれも2倍程度でした。産後1ヶ月時点での自傷行為念慮を考慮することが、よりの確に産後女性のメンタルヘルスを評価できることが示されました。

書誌情報

Masatsugu Orui, et. al. Evaluation of depression at 6 and 12 months postpartum by examining depressive symptoms and self-harm ideation during the early postpartum period: Tohoku Medical Megabank Project Birth and Three-Generation Cohort Study. *PCN Reports* (2024)

2024.11.21

認知症の早期発見・早期介入モデルの確立を目指す研究スタート

認知症は前段階や早期に発見して食生活や運動習慣を改善すれば、予防したり進行を遅らせたりできることが分かっています。このため、認知症の前段階や早期のうちに発見することが非常に重要となりますが、その方法はまだ確立されていません。国立長寿医療研究センターとToMMoなどが協力して、日本独自の認知症早期発見・早期介入モデルの確立に向けた大規模実証研究「J-DEPP(JAPAN DEMENTIA EARLY PHASE PROJECT)」を始めました。効果的な「認知症早期発見・早期介入モデル」を確立できれば、将来、全国の自治体での事業としての展開が期待されます。

本紙の詳細はウェブをご覧ください ▶
www.megabank.tohoku.ac.jp/news



Editor's Note

この半年程度、ブータン王国での健康関係のプロジェクトに携わりました。国民総幸福量(GNH)の導入でも有名な国で、一つの事象に特化せずに総合的な判断をどのようにし得るか、真剣に取り組まれていることを感じました。先進国でも模索される、総合的な健康状態の維持と改善を目指す医療との共通性、そしてToMMoができることに思いを巡らせています。(F.N)

\ 配信中 /

メールマガジン「ToMMo News Mail」
forms.gle/ajtRk2KkYEzaLbPLA



\ ご案内 /

地域とToMMoに基金
www.megabank.tohoku.ac.jp/kikin



ToMMo NEWS LETTER

2024年12月発行

発行 東北大学東北メディカル・メガバンク機構
TEL 022-717-8078
E-mail tommo-pr@grp.tohoku.ac.jp
www.megabank.tohoku.ac.jp

編集 長神 風二

編集協力 詫摩 雅子

印刷 株式会社 佐々木印刷所

www.sasaki-print.com

© Tohoku University Tohoku Medical Megabank Organization.